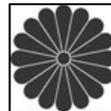


うわば
受賞者：上場自治公民館

いずみ
(鹿児島県出水市)

天皇杯
受賞年：平成10年



むらづくりの経緯

- ・出水市中心部から20km離れた標高500mほどの高台に位置する開拓集落。S40～50年代にかけて、豊富な草地資源を基礎とする酪農、肉用牛等の畜産や茶の産地づくりを推進。
- ・江戸末期と戦後に開拓された2つの集落が水道整備事業を契機にH6年に合併し、当公民館組織を設立。産業振興・地域づくりを担う5つの部会組織と交流活動に取り組む4つの組織からなる。同年には長期ビジョンを策定し、その実現に向けて積極的な活動を展開。

受賞当時

生産活動の特色

- 酪農部門では、牧草収穫作業の共同化や地元乳業メーカーとの連携による「上場高原牛乳」ブランドでの学校給食用やスーパー向けの販売に取組み、低コスト化、経営の安定化を実現。
- 肉用牛部門では、和牛を中心に約1600頭肥育。豊富で良質の粗飼料を肥育初期段階に多く与えるなどの飼養管理や粗飼料生産の共同化で低コスト化を実現。
- 家畜糞尿は適切に堆肥化され、耕種農家への販売や稲わらとの交換がなされ、循環型の生産サイクルを実現。茶部門では、有機無農薬茶の直売で有利販売を実現。



～受賞直後の効果～
観光客が増加。
道路や活性化施設等整備が進んだ

地域づくりの特色

- 高原の立地条件を活かし、菜の花・コスモス園作り（コスモス苗の植え付けは市民ボランティアの参加を得て実施）に取組み、年間10万人の観光客が訪れる。
- 訪れる人々に女性グループが多彩な地元農産物を直売。農産物の生産には高齢者が携わるなど地区全体が活性化。
- 住民総参加の小学校運動会、祭礼行事を継承。高齢者を地域全体で支える地域福祉ネットワーク活動を推進。



満開のコスモス上場公園



地元の牛肉・牛乳・野菜を使ったバーベキュー交流会

現在

評価ポイントの取組状況

- むらづくり推進体制の再編
 - ・公民館組織を再編、新たに「むらづくり事業部」を設立し、学校と地域との交流や体験交流支援、Iターン者への定住促進活動に取り組んでいる。
- 酪農、肉用牛、茶の生産状況
 - ・酪農1戸、肉用牛14戸、茶1戸と戸数は減っているものの、世代交代が進み、後継者が経営主となり、経営改善や新たな販売戦略への取組など持続的な農業が展開されている。
- 都市・農村交流活動の活発化
 - ・年間約20万人もの観光客が来園する秋のコスモス園で、「古代マーケット」を開催し、農産物や加工品の販売を通して地域資源の魅力をPRしている。
 - ・地区住民は、上場活性化施設「秋桜館」を拠点に、地域住民の役割を發揮し、上場産牛乳を使ったアイスクリーム加工やピザ・味噌作り体験等の交流活動を企画・運営。
- 農泊等の取組状況
 - ・2戸の農家等が出水市と連携し、修学旅行生の受入に取り組んでいる。



コスモス園で都市・農村交流



修学旅行生の受入

今後の展開

- 空家改修などの住宅整備を進め、定住促進につなげる。
- 高齢化等を背景に増えつつある耕作放棄地への対策を進める。
- 地区に1校だけある小学校を存続させ、持続的な地域活性化を図る。

受賞者：農事組合法人犬甘野営農組合（京都府亀岡市）

内閣総理大臣賞
受賞年：平成10年



むらづくりの経緯

・犬甘野地域は、高度経済成長期以降、投機目的の土地取得や、ほ場条件の悪さから耕作放棄地が発生するなど、農業を中心とした地域社会の崩壊が危惧された。
・このため、地域ぐるみで農地と自然環境を守ろうという気運が高まり、話し合いを継続する中で、全農家同意のもと集団転作に取り組み、昭和55年に3集落からなる犬甘野地域農業振興協議会を発足、活動の発展・拡充に合わせ組織の改変を行いながら、昭和63年に「農事組合法人犬甘野営農組合」を設立。

受賞当時

生産活動の特色

- ほ場整備の成果を活かし、営農組合が所有する大型農業機械を活用した作業受託とともに、水稻の品質統一や栽培管理の徹底、共同育苗等により生産を効率化。
- 地域農産物の販売、消費者ニーズの把握や「犬甘野」のブランド化を推進するアンテナショップとして「犬甘野風土館 季楽」を設置し、地域農産物の販路拡大と所得向上に寄与。
〔季楽の販売額：H6 12百万円 → H9 28百万円〕
- 地域に転作作物として導入されたそばは、営農組合が栽培から製麺までを一貫して行い、「犬甘野そば」として販売したところ、営農組合の収益の柱となり、米とともに犬甘野ブランドとして京都の特産品の1つとして認知されるようになった。

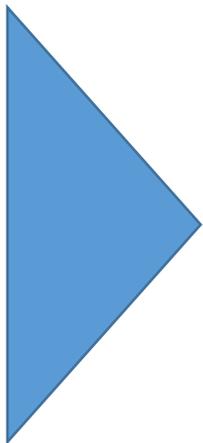
地域づくりの特色

- そば打ち体験道場の開設、ほたるのふるさとコンサート、かぶと虫狩り、秋の味覚ふるさとフェアなど地域の農産物や自然環境を活かしたイベント等を実施。
- 婦人部が、季楽の運営、農産物宅配等により営業面での営農組合の中核を担うとともに、地域の美化活動に取り組む等、地域に貢献。



～受賞直後の効果～

- ・ そばを食べに来る人が増加。
- ・ 視察者が増加



現在

評価ポイントの取組状況

- 土づくり、化学肥料及び化学農薬低減に継続して取り組み、安心・安全でおいしい「犬甘野米」を生産する。
- 直売所「犬甘野風土館 季楽」のお客様は増加傾向にある。
- 「犬甘野そば」は人気があり、亀岡市・京都府・近場のイベント等に出店を続けている。
- 6月に「ほたるコンサート」、11月に「季楽感謝祭」を開催することにより、都市部にお住まいのお客様に好評をいただいている。



今後の展開

- 隣接地域の営農組織との連携を深めながら、5年後・10年後の犬甘野の営農活動が持続的・発展的に展開できるように、関係者で知恵を集積する。
- 都市部にお住まいのお客様に喜んでいただける直売所「季楽」の発展的営業に努力する。